

平成 23 年第 2 回定例会の答弁要旨です。

美術館の防災対策について

- 県立美術館の設計にあたっては、公共建築として備えるべき耐震性能と環境面への配慮に加え、東日本大震災を教訓に、防災面に十分に対応する方針で検討を進めている。
- 防災面においては、免震構造を検討するとともに、大震災で被害の大きかった展示ガラスや天井等の部材については、より安全性の高い材料や工法を選定する。
- また、収蔵庫や設備機械室を上層階へ配置するなどの浸水対策についても検討している。